



絆プロジェクト

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成28年5月20日発行
No 1 文責 小林

キャリア

工業高校コラボ授業！

キャリアプランニング
能力の育成



16日(月)に工業高校の皆さんのご協力を頂いてグラウンドのライン引きを行いました。高校生の頼もしい姿や専門的な知識と技術を目の当たりにすることで、未来の自分を想像したり、設計の仕事に興味を抱いたりしたのではないのでしょうか。

豊成小学校では、「キャリア教育」に力を入れています。キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」を言い、「社会形成・人間形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題解決能力」「キャリアプランニング能力」を育てていきます。(詳しくは、先日お配りした『キャリア教育の手引き』をご覧ください。)

今回の授業は、キャリアプランニング能力の育成を目的として行いました。キャリアプランニング能力とは、「働くこと」の意義を理解し、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、未来を切り拓いていく力です。よって、子どもたちが、今回の活動を通して職業の選択肢が広がったり、高校生の姿に憧れや尊敬の気持ちを抱き、自分もこんな風になりたいという目標をもったりできると◎です。それには、しっかりと事前指導が必要です。視点を明確にし、この授業で何に着目して話を聴くのか？どんな視点で見てくるのか？を子どもたちに伝えることで、授業後に残る感想が全く違ってきます。「ライン引きが楽しかった。」だけではなく、設計という仕事に何を感じたのか？高校生の姿を見て自分はどうかありたいと感じたのか？そんな感想を残してあげられるように、学習の準備を進めていきたいと思います。

グラウンド設計を終えて

子どもたちの声

<測定の専門的な技術や道具にふれて>

光波という道具を使っている人たちを見て何をやっているのか不思議に思っていたのですが、いざふれてみると、とてもすぐれものだとことに気がきました。この体験を通して「工業高校」にとっても興味がわきました。
(男子)

光波の機械は、何をどのように測っているのか気になりました。私がおぞいた時は、遠くにあるフェンスが見えたので、望遠鏡のようなものなのかな？と思いました。まなび野公園で測っているのを見て気になっていたの、これを機に調べてみようと思います。
(女子)

<高校生の姿から自分のこれからについて考えたこと>

高校生の行動を見ると、やっぱり「大人だなあ。」と思いました。私達とは全く違いました。授業を受ける態度、取り組む姿など、とてもすてきでした。私もそんな高校生になりたいと思いました。
(女子)

高校生の姿を見て、これからの自分に生かしたことは、挨拶、返事、コミュニケーションです。僕は、コミュニケーション能力が低いので、高校生の皆さんを見習って次に生かしていこうと思います。
(男子)